

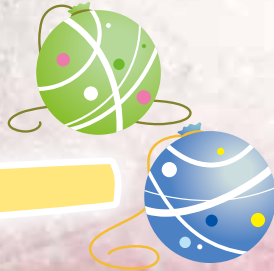
麻酔科

◆特集／医療アクション！

～麻酔科チームの理念について

ご紹介致します～

はつた



2020 夏

麻酔科

麻酔科チームの理念について
ご紹介致します

菅 康二郎 医師

医療は、患者様と主治医が診断や治療を通じて長く継続的に付き合い合っていく中で関係を深めていくのが一般的です。

一方、麻酔科の主な仕事は「麻酔」であることから、その接点は術前外来でのわずかな時間と、我々の本領を発揮する実際の手術時ですが、その際にも全身麻酔では患者様を入眠状態にするため、仕事のほとんどが入眠中に行われます。したがって、みなさんにとっては馴染みが薄く、イメージのわからない科……という残念なレッテルを貼られてしまうことが多々あります。

この様に、我々麻酔科医の仕事は常に患者様と関わる時間の少ない、一期一会の仕事であります。

麻酔科の仕事は一期一会

昨年7月より麻酔科医3名体制となりました。今回は我々のチームの理念についてご紹介致します。

特集 医療アクション

2~4P

麻酔科

～麻酔科チームの理念についてご紹介致します～

院内外のホットニュース 5・6P

◆教えてコーナー

健康にまつわる選りすぐりの知恵 7・8P

◆ホッ得! 今回のお題【口腔ケア】

◆私が伝えたい!はづの魅力 9・10P

◆情報to (通) ● 新型コロナウイルス院内感染防止のため 11P

◆部署紹介〈摂食嚥下リハビリ口腔ケアチーム〉 12P

◆医師歯科連携について 13・14P

〈四日市歯科医師会〉

◆自遊自在〈変換ミスパートII〉 15P

栄養士が考える旬の健康食 16P

◆おすすめ!!「季節を食す」

◆外来診療担当表 17・18P

眠っている患者様の
identityを守る仕事

では一期一会で記憶に残らない麻酔科の具体的な仕事とは？それは手術中の患者様の全身管理です。

麻酔中の体の状態は通常とは大きく異なるため体温・循環・呼吸・疼痛などあらゆる要素を麻酔薬をはじめとした多種の薬を用いて手術に耐えうる状態とし、また合併症の有無や全身状態から薬剤の濃度や量の調節を行いより良い状態で手術を乗り切り、安全に覚醒させて帰室して頂く、それが麻酔科の仕事です。

ここで大切なのが、麻酔で入眠中の患者様には、麻酔中の記憶が残りませんが、眠っておられるからこそ逆に真価が問われる仕事であるという点です。

我々のチームでは一麻酔科医である以前にまず一人間として、眠られている患者様のidentityを守ることが何よりも重

要であるという信念のもとに麻酔をさせて頂いております。一期一会ではありますが、すがその出会いのすべてにこころいっただいをのせ、患者様の記憶の向こう側で患者様と真摯に向き合っている科である、ということを知って頂けたら幸いです。

魔が差す

魔が差す、という言葉があります。誰も見ていないからいいや、といった怠惰な考えや行動を指すことわざです。麻酔科医の仕事は基本、患者様が眠っておられる中での仕事なので、魔が差してしまつ危険が常にあるということです。

私自身、麻酔科医として20年近く歩んできましたが、若かりし頃には何度となく魔が差したことがありました。誰よりも早く麻酔がかけられる事にもみ価値を感じてしまい、安全性などそっちのけで乱暴な麻酔を日々、続けていました。

そんな中、ある先輩に言われた「そこまで早くできるなら5分多くかけても安全にやれないの？」という一言に愕然としました。患者様は眠ってるから何をしてもわからない、という甘えがあったのだと痛感し、自身の倫理観を再度見つめ直すきっかけとなりました。それから

長い時間をかけて自身の弱さと向き合い、患者様にとって安全/確実/迅速な麻酔とは何か？を追及するため、自分の在り方を模索する中で、道標となる言葉に出会いました。それが『医は仁術なり』という言葉です。

医は仁術なり

これは貝原益軒の養生訓に書かれている「医は仁術なり。仁愛の心を本とし、人を救ふを以て志とすべし。わが身の利益を専ら志すべからず。」という一説からの引用です。

では仁術の仁とは何でしょうか？これは儒教の教えである「五常の徳(人として守るべき道のこと)」

仁・義・礼・智・信からとられたもので、簡単に説明すると

- ①仁：思いやりの心、優しさ
- ②義：利欲に囚われず正しいことを貫く心

- ③礼：礼儀を尽くし、相手に敬意を表すること
- ④智：物事の善悪を正しく判断する知恵
- ⑤信：誠実であり嘘がないこと

といった具合です。



話を戻しますが『医は仁術なり』、これは医療人の倫理観を説いた一説であり、正に自身の経験上医療人として、また人間として最も大切なことだと常に感じ、体現するよう努めている一説です。

最後に

記憶には残らない仕事かもしれませんが、ですが想いは伝わると信じて日々、麻酔を勤めさせて頂いております。またそういった想いを次の世代に伝えていくことが自身の使命だとも思っています。

このように我々麻酔科チームは、患者様のために責任と誇りをもって日々努力をしているということを、皆様の頭の片隅に留めて頂けたら幸いです。



リアル正義の味方!!



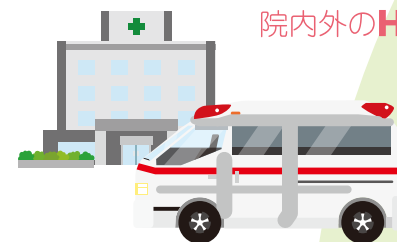
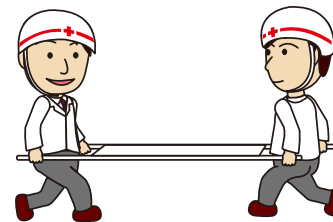
彼らの職務は激務です。救命士に与えられた任務は一刻を争う状況下で、的確な状況判断と冷静な対応力が求められます。それを行うための確かな知識と技術、そしてそれを得るための膨大な時間の努力、さらにそれを支える強い精神力と体づくり。颯爽と現着する彼らにはそれだけの血と汗と涙のバックグラウンドが存在するのです。しかし、そんな厳しいバックグラウンドにもかかわらず常に前向きに取り組む姿勢を持ち、そして何より患者様を救いたいと心から願っている『リアル正義の味方』といった方も実際にいらっしゃいます。そうあるために、日々のたゆまぬ努力が礎となって、彼らの職務は成り立っています。みなさん、ご存知でしたか？



ご理解とご協力をおねがいします



さて、患者様にとって手術は人生の一大事です。そんな折に「けしからん!」とお叱りを受ける事があります。それは・・・救急救命士の実習への参加協力をお願いした時です。しかし彼らのおかげで有事の際は多くの命が救われています。もちろん、指導は厳しく行い、患者様の安全は専門医が責任をもってお守りします。また、彼らは並々ならぬ努力と覚悟をもって実習に参加しています。その中で一人でも多くの患者様を救いたいという彼らの志をどうぞご理解いただき、実習への積極的かつ快いご協力を頂けたら幸いです。



救命士挿管実習

皆さんは救急救命士をご存じですか？一般的には『救急隊員』と呼ばれている彼らですがイメージとしては119番すると白いワゴン車で颯爽と現れる正義の味方!といった感じかもしれません。

救急救命士とは1991年制定の救急救命士法に基づき、厚生省が与える免許を取得した医療専門職の一つです。かつては救急隊員とよばれ真っ先に現着しても、医療行為を行うことができないという制限を受けていました。しかし、実際に現着して最初に患者様に接するのは彼らであり、その判断や処置によって救命率は大幅に変わります。このことから日本でも法改正が行われ、救急救命士に医療行為の一部を認可し、そのための教育システムが始まったという歴史があります。



特定行為ってなに？



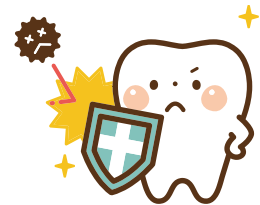
彼らは救急救命処置といって病院に搬送されるまでの間に患者様の状態悪化を防止し、生命の危険を回避するための緊急処置を行うことが法的に許されていますが、その中に**特定行為**と呼ばれる、より高度な知識や技術を要する行為があり、その一つが『**気管挿管**』です。これは人工呼吸を確実に行うために気管に管を通す処置ですが、管を一本通すのに解剖学的な知識と喉頭鏡という特別な器具を用いた技術が必要になります。この気管挿管を日常的に専門とするのが麻酔科医です。そのため彼らの実習のためには研修指定病院の手術室において予定手術患者様のご協力のもと、麻酔科専門医が責任をもって指導する形でこの資格を付与するということが義務化・制度化されています。

ホッ!得

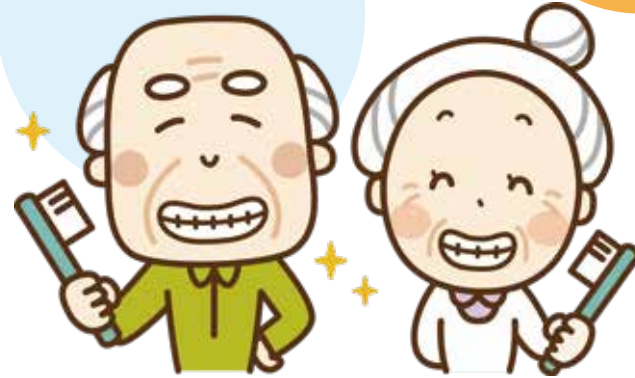
今回のお題

「お口の中」のこと、知っていますか??

「口腔ケア」



口腔ケア



口腔内には多数の細菌が存在しています。その主なものは、歯垢（デンタルプラーク）として歯面に付着していますが、歯のない人にも義歯や口腔粘膜、唾液中などに多く存在しています。歯垢はバイオフィルムと呼ばれる強固な膜を形成して歯面に付着しているため、歯磨きによる清掃が一番の除去方法となります。

口腔ケアが不十分な場合、齲蝕（ムシ歯）や歯周病に罹患するだけでなく、様々な疾患（脳卒

中、心内膜炎、糖尿病、誤嚥性肺炎、早産、未熟児など）の発症にも関連があることが分かっています。

徹底した口腔ケアを行ったところ、誤嚥性肺炎が減少し、予防にも有効との報告も認められ、口腔ケアは非常に重要であると認識されるようになりました。自分で口腔ケアを行うことが困難となった患者さんは口腔環境が不良になりやすく、口腔合併症（口内炎、口腔乾燥など）の発生率が増加します。それによって、口腔機能が低下し、摂食、嚥下障害、誤嚥性肺炎、低栄養などが生じやすくなります。それらを防止するためにも口腔ケアが大切です。

口腔ケアの目的

- 口腔疾患の予防（齲蝕、歯周疾患など）
- 誤嚥性肺炎の予防
- 術後合併症の予防（創部感染や術後肺炎など）
- QOL(生活の質)の向上
(摂食・嚥下など口腔機能の維持回復、口腔乾燥の改善)

歯と口腔の主な働き

- 食べる・咀嚼・嚥下
- 味覚
- 話す
- 呼吸する
- 脳への刺激

適した歯ブラシの選び方

- 毛先が小さい
- 柔らかい毛
- ナイロン毛

写真のように
ブラシが外側に
反ってきたら
交換時期です

正しい歯磨きのコツ

- 歯と歯肉の境目を磨く
- 力を入れすぎない（痛い場合は強すぎる）
- 横に細かく振動させる
- 1本ずつ磨くつもりで角度を変えながら行う
- 歯ブラシはエンピツを持つようにする

以上、口腔ケアの目的や働きなどについて紹介しました。
当院では入院中の患者さんの口腔ケアを積極的に行っています。

私が伝えたい はづの魅力

私は4月1日より総務企画課に配属されました。これまで医事課、健康管理センター、経理課と異動して30年以上が経過しました。入職当初は、医療の事が全くわからず、先輩や医療スタッフの方々、先生方にも質問をし、いろいろ教えて頂きました。特に印象深いのは、脊椎麻酔と硬膜外麻酔の違いについて質問した時です。先生が「明日の午後は空いているか？手術室において」と、麻酔と手術手順まで現場レクチャーを受けました。その経験から診療報酬が机上のものでなく、医療の現実を感じさせて頂いたお陰で、自分の仕事の理解が深まりました。今でも疑問に思う時は現場に行きますが、スタッフは忙しい中、嫌な顔せず教えて頂いています。

このように当院は、職種の垣根を越えて、つながりのある良い環境にあります。また地域の皆様にも、職務上、様々なお願いをすることがありますが、皆さん「はづさんやでな。」と理解して頂ける環境を振り返ると、私は人と人とのつながりに感謝の気持ちで一杯です。

総務企画課長 江川 登

好きな言葉

「今日より、明日」



I love yokkaichi.

私は健康管理センターの総合健診科で予約窓口を担当しています。健診結果で精密検査が必要となった場合、予約診察を受けて頂く事ができます。また、昨年より睡眠時無呼吸症候群の専門外来や、前立腺PSA外来の予約が可能となりました。早期発見、早期治療に繋がりますので、是非、精密検査を受けて頂くことをお勧めいたします。私は、健診結果をご覧になられご心配されてお電話を頂く皆様にできるだけ丁寧な説明を心掛けております。今後とも皆さんの健康づくりのお役に立てるよう努めていきたいと思っています。

健康管理センター 管理課 総合健診科

新田 青子

好きな言葉「自分らしく」



4病棟看護師 前田 洸樹

「人のために」

好きな言葉



私が所属する4病棟は、消化器外科、泌尿器科、婦人科、眼科の混合病棟です。入院される患者さんは10代から90代と年齢に幅があります。その多様なニーズに対応するために看護師同士の連携はもちろんのこと、多職種との情報共有も日頃から密にしながら、患者さんとの関わりを大切にしています。そして、当院に入院される患者さんの不安や苦痛が少しでも和らぎ、笑顔になれるようあたたかい看護を提供していきたいと思っています。

私は眼科・小児科・泌尿器科の外来に勤務しています。小児科外来では、急性疾患や慢性疾患の診療、予防接種や乳幼児健診も行っています。診察を受けるお子さんはもちろん親御さんも大きな不安を抱えてみえます。私自身子育ての真最中なので、子どもの体調不良にはいつも敏感になりとても心配になります。そのため私は親御さんの不安を少しでも軽減できるような気持ちに寄り添い、自宅で出来るケアや対処法をお話ししています。小さなことでも構いませんので、お気軽に声をかけてください。

2階外来看護師 川喜多あかね

好きな言葉

「和顔愛語」



リハビリテーションシヨン部
言語聴覚士 南川 瑛奈

「前向き」

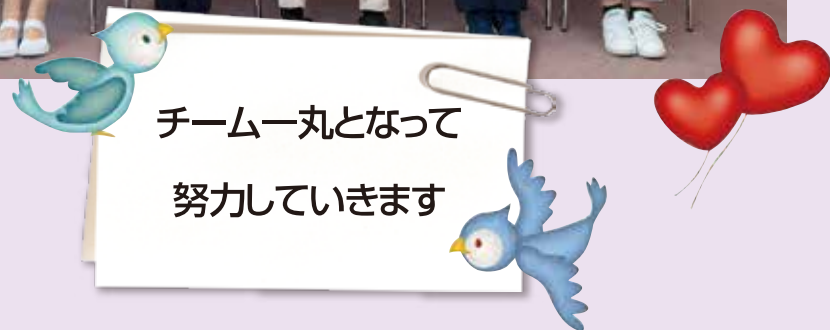
好きな言葉



私は言語聴覚士として高次脳機能・言語機能・摂食嚥下機能の検査やリハビリを担当しています。

入職して1年が経ちました。その中で発見した羽津医療センターの魅力は素敵なスタッフが多いところです。患者さんは病気のことや将来について不安を抱えています。スタッフの話しかけやすい雰囲気は患者さんの不安な気持ちに寄り添い、安心感を与えているように感じます。まだまだ助けられてばかりの私ですが、いつかは先輩方のように患者さんに頼られる言語聴覚士になれるように努力していきたいです。

「摂食機能 (摂食嚥下リハビリ口腔ケア)チーム」



チーム一丸となって
努力していきます

皆

さんは「摂食嚥下」という言葉をご存知ですか？摂食嚥下とは、食べ物を認識→噛む→飲み込む→胃へ送るという一連の動作の事を指します。脳卒中や神経・筋疾患、老化などが原因で、この動作が上手く出来ないことがあります。さらに、食べ物などが気管に入ることによって誤嚥性肺炎を引き起こす可能性もあります。そこで、私たち「摂食機能（摂食嚥下リハビリ口腔ケア）チーム」が、患者さんが安全においしく口から食事ができるよう、お手伝いをしています。

チームには脳神経内科医、看護師、歯科衛

生士、管理栄養士、リハビリテーションから作業療法士、言語聴覚士と様々な職種が関わっています。そして毎週チームでカンファレンスを行い、多職種で情報交換しながら改善に向けて検討します。多方面からアプローチすることで、栄養状態を評価したうえで、それぞれに合った食事内容や方法を提案することができます。また、口腔内を綺麗に保つことで誤嚥性肺炎の予防に繋がります。

これからも患者さんが安全に食事を楽しめることを目標に、チーム一丸となって努力していきます。

情報to

四日市
羽津医療センターの
取り組み

当院の新型コロナウイルスの感染対策

発熱チェック 4月21日～



新型コロナウイルスの院内感染防止のため、当院では来院される方に対し、発熱の確認を正面玄関で始めました。額や首で測定し、37.5度を超える方には看護師による聞き取りを行い、隔離が必要と判断した場合は、一般の方とは交わらない別室で待機して頂く体制をとらせていただきます。ご不便をおかけしますが、この地域の医療体制を守るため、皆様のご協力をお願いします。



手術部における新型コロナウイルス対策訓練

手術部では新型コロナウイルス対策訓練を院内感染対策委員会監修の基、訓練を繰り返し行っています。

どのような状況下でも患者さんが入室から退室まで安全に手術を受けて頂けるよう準備しています。





医科歯科連携

歯科受診のすすめ

四日市歯科医師会



本格的な治療を開始する前にお口の中をチェックし、必要な処置をすることで、
トラブルを防いだり、軽減できることが分かっています



会長 芝田 憲治

厚生省の報告によると、日本の65歳以上の高齢者の人口は2025年には全人口の30%、さらに2055年には約40%になると予想されています。今後、世界に類のない超高齢社会になることが確実とされています。

高齢社会が進むにつれて要介護高齢者の数は増加し、要介護状態では口の中の清掃がおざなりにされ非常に不潔な方が多くなると推測されます。急増する要介護高齢者のQOL(生活の質)向上を目指した生活支援が必要となり、

口腔内細菌と内科疾患との関連性、咀嚼の機能と老化・認知症との関連性など、口腔環境が高齢者の全身の健康と密接に関連していることが近年明らかになってきました。細菌の塊である歯垢は、ムシ歯や歯周病の直接的な危険因子であると同時に、全身疾患を引き起こす

口腔領域では口腔ケアの普及が大変重要になっていきます。口腔ケアというと口の中を清潔にするということだけに注目されがちですが、歯や口の疾患を予防し口腔の機能を維持することがその目的に当たります。また、口腔ケアはQOLの向上のみならず誤嚥性肺炎(ごえん：異物を誤って飲み込むこと)などの全身疾患の予防、全身の健康状態の維持・向上にもつながります。

口腔ケアは日常的に必要なことですが、例えば、ご自身が「がん」にかかってしまったときを考えてみましょう。「身体はがんに侵されて命の保証もない・・・そんな時に、歯や歯茎のことなど考えられるか?」さて、平成24年6月に、国の新しいがん対策推進基本計画

菌の温床としての役割を果たす可能性が高いということが言われてきています。口の中の細菌が関与すると考えられる代表的な全身疾患としては、感染性心内膜炎、敗血症・虚血性心疾患・誤嚥性肺炎などがあげられます。

口腔ケアは、単に歯や歯ぐきのためだけではなく、生活援助に加えて全身疾患の予防など、生命の維持・増進に直結したケアということにもなります。

口腔ケアは日常的に必要なことですが、例えば、ご自身が「がん」にかかってしまったときを考えてみましょう。「身体はがんに侵されて命の保証もない・・・そんな時に、歯や歯茎のことなど考えられるか?」さて、平成24年6月に、国の新しいがん対策推進基本計画

が策定されたことを受け、三重県歯科医師会は、がん患者の治療効果の向上や、療養上の生活の質の向上を図ることを目的として、がん患者の口腔管理を行うことができる体制の整備を進めるため、県内のがん診療連携拠点病院とがん診療連携推進病院、12病院で構成される三重県がん診療連携協議会、及び県行政との三者間で「がん患者医科歯科連携協定」を締結しました。

羽津医療センターにおいても、その強化のために四日市歯科医師会と連携し周術期、つまり術前、術中、術後の3つの段階において、口腔内に起こりうる合併症、例えば、口腔粘膜炎、カンジダ症、ヘルペス感染、歯性感染症、誤嚥性肺炎、口腔感染症、味覚異常、骨粗鬆症治療薬の副作用による顎骨骨髄

炎、放射線性う蝕、気管挿管時の歯牙の破折・脱落などへの対応をよりスムーズにより確実に(行うように話し合いを進めておられます。これらの症状については日頃からの「口腔ケア」が非常に重要であり、また、周術期における歯科での対応については、かかりつけ歯科医院への受診が主なものになりますが、かかりつけ歯科医院が遠くて手術前に処置が困難、また、かかりつけ歯科医院がない場合には四日市歯科医師会口腔ケアステーションからの紹介も可能です。四日市歯科医師会口腔ケアステーションでは、そういったお問い合わせについても対応しております。

羽津医療センターは四日市歯科医師会口腔ケアステーションと連携し、がん治療の周術期の

炎、放射線性う蝕、気管挿管時の歯牙の破折・脱落などへの対応をよりスムーズにより確実に(行うように話し合いを進めておられます。これらの症状については日頃からの「口腔ケア」が非常に重要であり、また、周術期における歯科での対応については、かかりつけ歯科医院への受診が主なものになりますが、かかりつけ歯科医院が遠くて手術前に処置が困難、また、かかりつけ歯科医院がない場合には四日市歯科医師会口腔ケアステーションからの紹介も可能です。四日市歯科医師会口腔ケアステーションでは、そういったお問い合わせについても対応しております。

羽津医療センターは四日市歯科医師会口腔ケアステーションと連携し、がん治療の周術期の

炎、放射線性う蝕、気管挿管時の歯牙の破折・脱落などへの対応をよりスムーズにより確実に(行うように話し合いを進めておられます。これらの症状については日頃からの「口腔ケア」が非常に重要であり、また、周術期における歯科での対応については、かかりつけ歯科医院への受診が主なものになりますが、かかりつけ歯科医院が遠くて手術前に処置が困難、また、かかりつけ歯科医院がない場合には四日市歯科医師会口腔ケアステーションからの紹介も可能です。四日市歯科医師会口腔ケアステーションでは、そういったお問い合わせについても対応しております。



歯科への対応、入院患者さんへの口腔ケアの対応に関して積極的に対応して参りますので安心してご受診していただけますよう尽力してまいります。「三重県がん患者医科歯科連携登録歯科医院」につきましては、三重県歯科医師会HP↓「歯科医院を探す」↓左下側「三重県がん患者医科歯科連携登録歯科医院」をクリックしていただきますと医科歯科連携登録歯科医院を検索いただけます。



一般社団法人
四日市歯科医師会
TEL 059-354-8512
FAX 059-354-8513
〒510-0093
三重県四日市市本町9-12



おすすめ!!



1人分
213kcal

いちごのパウンドケーキ

(いちごのパウンドケーキレシピ)

<材料>6人分

- 無塩バター 80g
- グラニュー糖 70g
- 卵 70g
- 小麦粉 80g
- ベーキングパウダー
..... 小さじ1/2
- いちご
..... 3~4個 (50g程度)
- 牛乳 小さじ2
- 紅茶ティーパック 1袋

<作り方>

- ①卵、バターは常温に戻す。
- ②小麦粉とベーキングパウダーは合わせてふるう。
- ③オーブンは180℃に予熱。
- ④紅茶茶葉を牛乳に浸す。いちごは適当な大きさに刻む。
- ⑤ボウルにバターを入れ、泡立て器でクリーム状になるまで練る。
- ⑥グラニュー糖を加え、白っぽくふんわりするまでよく混ぜる。
- ⑦ほぐした卵を3~4回に分けて加える。
- ⑧ふるった小麦粉とベーキングパウダーを半量加え、ゴムベラで切るように混ぜる。
- ⑨残り的小麦粉とベーキングパウダーも加えて混ぜ、牛乳に浸した紅茶茶葉・いちごを入れて混ぜる。
- ⑩生地を型に入れ、型を3cm程度持ち上げて2~3回落とし、中の空気を抜く。
- ⑪180℃に予熱したオーブンを170℃に下げ、約40分焼く。竹串を刺して生地がついてこなければ、焼き上がり。

栄養管理室
管理栄養士

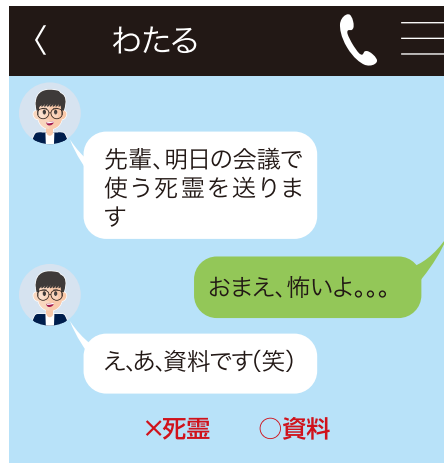
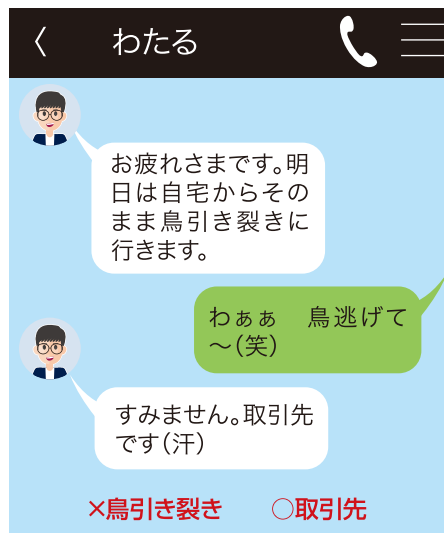
柴田 麻衣

「季節を食す」

管理栄養士が考える旬の健康食

★ポイント★

牛乳を人肌に温め、紅茶を浸すとより一層紅茶の香りが引き立ち、風味を楽しめます。苺の代わりに季節の果物やドライフルーツを使うことで色々な味を楽しんで頂けると嬉しいです。手作りおやつに飲み物を添えて素敵なティータイムに。

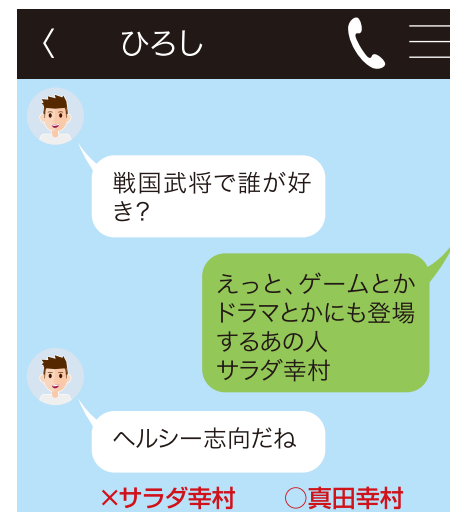


自遊自在

『変換ミスパートII』

今回は、LINEやショートメール編!

皆さんは、メール入力後、読み返さずに出してから誤入力・誤変換に気がついて慌てたことはありませんか? チャットとなると読み返したりしないでしょから、誤入力で時々とんでもない文を送ってしまうこともあるでしょう。今回も、誤変換のおもしろい間違い編です。



● 外来診療担当表

※担当医表は変更する場合がありますので詳しくはホームページをご覧ください

2020年6月1日現在の外来担当医表です

診療科		月	火	水	木	金
内科	初診	井本 一郎 消化器科・一般	杉本 龍亮 消化器科・一般	岩佐 元雄 消化器科・一般	渡辺 省三 消化器科・一般	吉川 恭子 消化器科・一般
		★李 由紀 一般	吉原 彰宏 一般	★高司 智史 一般	吉原 彰宏 一般	担当医 一般
				★高司 智史 第2、第4水曜 PSG 予約		
消化器内科	初診	★中島 滋人	★樋口 国博	大原和人	大西 賢多朗	阪口 亮平
	再診	★樋口 国博 再診予約	渡辺 省三 PM再診予約		★中島 滋人 再診予約	渡辺 省三 AM 再診予約
		大西 賢多朗 再診予約	竹井 謙之 PM 予約		阪口 亮平 再診予約	★樋口 国博 AM 再診予約
					★高司 智史 AM 再診予約	
循環器科	初診	★山中 崇	初診休診	谷村 宗義	初診休診	★山中 崇
	再診	★山中 崇 再診予約	★山中 崇 再診予約	川村 正樹 再診予約	谷村 宗義 再診予約	谷村 宗義 再診予約
		杉浦 武 PM 再診予約	杉浦 武 PM 再診予約	ペースメーカー 外来		ペースメーカー 外来
リウマチ膠原病内科(予約)					佐藤 良子 再診予約	小寺 仁 初診完全予約
呼吸器科	初診	鶴賀 龍樹 11:00まで 診察受付	小林 哲 10:30まで 診察受付	藤原 拓海 11:00まで 診察受付		吉田 正道 11:00まで 診察受付
	再診				都丸 敦史 SAS	中原 博紀 PM再診
腎・透析科	初診	三宅 真人 初診	水谷 安秀 食事指導外来 (月1回)	水谷 安秀 再診予約	三宅 真人 再診予約	
			水谷 安秀 特別外来 (月3回)	名和 俊平 再診予約		
			名和俊平 再診予約			
糖尿病センター	初診	★三好 美穂 糖尿病	院長 住田 安弘 AM 糖尿病	安間 太郎 AM 糖尿病	★三好 美穂 AM 糖尿病	奥山 圭介 糖尿病
			★三好 美穂 糖尿病	奥山 圭介 糖尿病	奥山 圭介 糖尿病	江口 和人 糖尿病
			CGM外来 1400~15:00			
脳神経内科	初診	★朝日 理 PM 再診	★朝日 理 AM 予約	田村 麻子 AM 予約		★朝日 理 PM 再診

※外来診療受付時間は、8:00~11:30です。(科によっては早く受付を終了します。)※H28.5.9より、内科、消化器内科、循環器科、呼吸器科、腎・透析科、糖尿病センターの外来診療受付は8:00~11:00となります。※眼科では火曜日のみ、皮膚科では火曜日&金曜日とも、耳鼻科火曜日は受付時間が11時までとなっております。※総合健診科は当院健康管理センターへ健診後に受診が必要な方を対象としています。※泌尿器科の月・水・金は手術日の為、受付は8:00~10:30となります。※R2.5月より当面の間、循環器科火曜日、木曜日の初診外来は休診となります。

診療科	月	火	水	木	金
外科 大腸肛門病 (IBD) センター	★山本 隆行 予約	名誉院長 松本 好市 予約	副院長 梅枝 寛 AM予約	副院長 梅枝 寛 予約	★山本 隆行 予約
	★中山 茂樹	副院長 北川 達士 乳腺	木村 充志	鈴木 桜子 乳腺	★西川 隆太郎 再診予約
	◆肥満 智紀	★西川 隆太郎	★李 由紀 乳腺	★山本 隆行 午後予約	★李 由紀 乳腺
	下山 貴寛 再診予約	◆肥満 智紀		★中山 茂樹 再診予約	下山 貴寛
	★李 由紀 PM乳腺予約			◆肥満 智紀	★李 由紀 PM乳腺予約
				鈴木 桜子 乳腺	鳥井 孝宏 木村 充志 再診予約
ペインクリニック			坂倉 幸子 9:30~ 予約		
緩和ケア外来			★石井 雅昭 予約		★石井 雅昭 予約
小児科	栗原 康輔	担当医	栗原 康輔	担当医	栗原 康輔
	慢性疾患外来 午後 再診予約	乳児健診 予防接種 午後	慢性疾患外来 午後 再診予約	慢性疾患外来 午後 再診予約	慢性疾患外来 午後 再診予約
整形外科	★小川 明人 再診予約	岩崎 竜也	★小川 明人	担 当 医	岩崎 竜也 再診予約
	瀧川 慎也	瀧川 慎也 再診予約	岩崎 竜也 再診予約	※木曜日は OPEの都合で 外来診察医師が異なります。	瀧川 慎也
		★小川 明人 再診 14:00~	★小川 明人 再診予約14:00~ 担当医 再診予約14:00~		
産婦人科	★中 淳	樋口 恭仁子	★中 淳	樋口 恭仁子	★中 淳
泌尿器科	★加藤 貴裕 ~10:30	★小川 和彦	★加藤 貴裕 ~10:30	★小川 和彦	★加藤 貴裕 ~10:30
眼科	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ ~11:00	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ	★中野 めぐみ
	若松 泰子		米川 由賀		
耳鼻科		間島 雄一 ~11:00			
皮膚科		後藤 啓元 ~11:00			波部 幸司 ~11:00
総合健診科	岩村 康一AM 健診後完全予約	岩村 康一AM 健診後完全予約		杉村 芳樹AM 健診後完全予約	副院長北川達士PM 健診後完全予約
	副院長北川達士PM 健診後完全予約	松本 好市 (PM) 健診後完全予約	渡辺 省三 (PM) 健診後完全予約	副院長北川達士AM 健診後完全予約	

は初診です ★=部長 ◆=医長

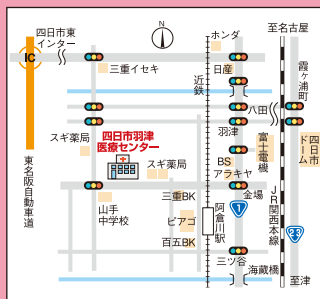
病院と地域を結ぶ

はづナビ

VOL.39

令和2年6月発行

発行：四日市羽津医療センター
編集：四日市羽津医療センター広報委員会
〒510-0016 三重県四日市市羽津山町10番8号
TEL 059-331-2000
URL <https://yokkaichi.jcho.go.jp>
編集協力：TCK Nagoya



公共交通機関のご案内

- 近鉄阿倉川駅より西へ徒歩約8分
- 近鉄四日市駅よりタクシーで約10分
- 三重交通バス羽津山経由Jヒルズ行(病院前下車)
- 生活バス(四日市羽津医療センター下車)
- 東名阪、四日市東インターから約10分

四日市羽津医療センター

検索

掲示板

新任医師の紹介

整形外科

NEWS

岩崎 竜也

(いわざき たつや)

整形外科医師

消化器内科

NEWS

大西 賢多朗

(おおにし けんたろう)

消化器内科医師

R2年度 初期臨床研修医 を紹介します

resident

大平 哲宏

(おおひら てつひろ)

resident

平田 陽一

(ひらた よういち)

resident

細川 裕太

(ほそかわ ゆうた)

resident

松本 崇宏

(まつもと たかひろ)

resident

山本 翔太

(やまもと しょうた)

resident

吉川 諒

(よしかわ りょう)

編集後記

6月に入り、早いもので今年も半分が過ぎようとしています。例年ですと、紫陽花を楽しみながら、夏を待ち望んでいる時期ですが、今年は自粛や我慢の毎日に、皆さんが疲弊しているのではないかと心配しています。当院に来院される方々にも、禁止や制限等にご協力いただきありがたく思っています。しばらくは、身近な楽しみを探していくことしかできないかもしれませんが、いつかは安心な日常が戻ってくることを期待して、もうしばらく頑張りましょう！そして、この“はづナビ”を皆さんにとっての、楽しみの1つにさせていただけたら幸いです。